

## 夏原グラント2012年度の助成団体の活動紹介

### 2012年度助成団体一覧

夏原グラントの助成金を受けて実施した活動について、各団体から報告していただきました。バラエティに富んだ内容で、参加した皆さんの笑顔があふれています。どうぞご覧ください。

団体名	事業名	助成額
彦根雨壺山・護林会	千鳥ヶ丘公園（雨壺山）の荒廃緑地を「里山」に再生	340,000
きぬがさ山「里山に親しむ会」	きぬがさ山系の登山道の整備作業と子供達の里山での自然体験学習	92,000
特定非営利活動法人 妙理の里	環境の保全を図る活動（ペレットストーブの普及で水源の郷を守る活動）	350,000
のとがわエコ水車の会	エコ水車で夜道も明るいまちづくり	130,000
子ども活動サポーター会	コバノミツバツツジの郷づくり	130,000
伊吹山もりびとの会	伊吹山自然保全事業・山頂お花畑ボランティアガイド活動	492,000
特定非営利活動法人 子育て研究会	こんこん山の里山再生と森保全ワークショップ	400,000
白鳥川の景観をよくする会	桜並木の整備による憩いの散策路づくり	300,000
琵琶湖博物館 はしかけ 田んぼの生きもの調査グループ	「田んぼのエビ類（大型総脚類）」の生息と水田環境	311,000
特定非営利活動法人 芹川	子ども達の芹川伝承記録づくりと子ども達と共に芹川花一杯運動	500,000
ニナプロジェクト・ホタルン (カワコナ里親の会)	源氏ホタル「特別天然記念物指定地」の環境（ホタルンロード）整備と 湊瀬河川へのカワコナの放流事業及びカワコナ養殖水路改修	500,000
巨木と水源の郷を守る会	巨木を育む豊かな森と水源の郷をつくるトキノキプロジェクト	400,000
ぼてじゃこトラスト	貴重種イチモンジタナゴの野性復帰に向けた活動	300,000
特定非営利活動法人 愛のまちエコ倶楽部	里山と里地をつなぐ、地域内循環農業の再構築事業	350,000
特定非営利活動法人 蒲生野考現倶楽部	佐久良川周辺里地での貴重動植物の持続可能な保護活動の探索	500,000
エコノボイス滋賀	エコノボイス寄席	350,000
草津でホタルを楽しむ会	湧水池を活かして、ホタルや生き物達を観察できる水辺づくり	130,000
一般社団法人 k i k i t o	びわ湖の森の間伐材買取事業	500,000
権座水郷を守り育てる会	権座水郷の景観保全活動事業	500,000
特定非営利活動法人 百菜劇場	レンコン畑での農業体験による環境教育事業	425,000
環境レイカーズ	子どもたちによる五十年森再生活動	192,000

### 彦根雨壺山・護林会 千鳥ヶ丘公園（雨壺山）の荒廃緑地を「里山」に再生

雨壺山の緑地は長年放置されて荒廃しており、この美林化に取り組むボランティア団体です。活動は10年目に入り、現在の会員は34人です。



夏原グラントの助成で、4年ぶりにチッパーシュレッダーをレンタルし、手つかずだった山腹の竹林で、住民にも「一日ボランティア」を呼びかけたところ、総勢42人という大掛かりな一斉間伐となりました。チッパーの処理が追いつかないほど切り出しました。草刈り機の補充で下草刈りの効率も上がり、竹曳きノコや混合燃料などの消耗品不足を心配せずに、一年を通じて毎月2回の作業を行うことができました。また耕運機の購入で、小規模ながら初めてサツキの花木園を造りました。緑地保全だけでなく新たな試み「季節感豊かな公園」への一歩になるのではと思います。

10年目に入り、初期からの会員もそれぞれ高齢化。近年は活動もやや低調気味でした。しかし、備品が充実し、会では初の作業中のお茶支給などもできて、会員みんなに、少し活気がよみがえった感じがしています。



### きぬがさ山「里山に親しむ会」

### きぬがさ山系の登山道の整備作業と 子供達の里山での自然体験学習

遊歩道を歩く人々が快適に里山での時間を過ごせるよう、草刈りや枯れ木の伐採、子供たちが山を愛する気持ちをもつ体験を実施しています。

<http://ameblo.jp/satoyama-friends/>



毎月第3土曜日を定例作業日と定め、主に遊歩道の道しるべを手作りで作成し設置しました。草刈りや台風・雪害で倒れた木や、ナラの枯れ木の伐採を実施。チェーンソーを安全に使うための「労働安全衛生特別教育」を毎年2~3名が受講、安全意識の向上を図りながら遊歩道の整備をしてきました。また、子どもたちが故郷の山を愛し、山をはぐくむ精神を持つよう、清掃登山や伐採の見学、山の中での遊びを体感するような活動を行いました。遊歩道は草が茂り倒木が道をふさぐ状況でしたが、活動により、快適な登山が楽しめるようになりました。また、子供たちが山を愛する心も育ったものと思われれます。ナラ枯れは課題ですが、これらも徐々に成果が上がっています。

遊歩道の整備も看板作製の材料、草刈り機、チェーンソーの購入、修理、燃料と資金が必要となり、会費だけでは苦しい状況でしたが、この助成により安心して活動ができるようになり、遊歩道の整備と地域の方々、子供たちとのふれあいの場が広がってきたと思います。



### 特定非営利活動法人 妙理の里 ペレットストーブの普及で水源の郷を守る活動

私たちは、「市民レベルで環境保全を！」を合言葉に、長浜市北部の一般市民で水源の郷を守り里山を守るため立ち上げたNPOです。平成25年度4月末日ホームページ開設予定



予想をはるかに超える地球温暖化の進行や、里山の荒廃する現状について看板やチラシを作成し、地域の様々なイベントに参加して訴えたところ、多くの市民から反響がありました。今では営業活動せずともお問い合わせが月に4~5件あり、既に5件の予約があります。燃料の「木質ペレット5kg/袋」の袋詰めや配達では、障害のある人たちに有償で協力をお願いし、障害者自立支援での評価を受けるようになりました。

「木質ペレット」の実績では2011年度2基、2012年度10基、2013年度は既に予約5基で、大きな設置台数となる予兆があります。燃料(木質ペレット)の準備では今年度は約4000~5000袋が必要となり、障害者支援施設に大型の物置を建てる予定です。

助成金で広告や設備投資が進み、経費の圧縮ができ、普及販売単価をできるだけ低くして、一般市民が化石燃料から自然エネルギーに転換しやすい価格帯が可能となり、口コミで広がり普及が進んでいると思います。



### のとがわエコ水車の会 エコ水車で夜道も明るいまちづくり

能登川地区は小川や水路が町中を縦横に流れています。一方、放置自転車は増加し続けています。そこで自転車の発電機を水路で回して夜道を明るくしようと、2009年春に発足しました。



毎年10基程度の自転車水車を作り続けて来ました。折角昼間に発電しても蓄電の方法が解らずにいましたが、今回、八幡工業高校で3年生の課題研究のテーマのひとつに「自転車水車発電」を採用していただけることとなり協働による「蓄電型エコ水車」の製作に取り組みました。7月、10月、12月に月2回学校へ通い、本年1月の完成に漕ぎ付け、高校での成果発表会にも参加させていただきました。

緩やかな水路での発電は、なかなか電圧が上がらず、6ボルトの蓄電池への充電は意外と困難なことも判りました。高校の生徒さんたちとの交流を通じて色々な発想のヒントを得ることができました。

これまで、少人数の仲間だけでの活動で、マンネリになりかけていましたが、今回の助成制度を機に高校生とのコラボレーションに踏み出すことができました。

